



公明党

桐野 忠

こどもの性被害防止策

12



問学校では、児童生徒の性被害が起こらないようにどのような取り組みを進めているのか伺いたい。

答学校教育部長 児童生徒をよく見守り、変化を見逃さないようにするとともに、教員の状況をよく把握できるようにしている。その上で、学級活動や道徳科等において、生命の尊重、自他を大切にできる態度、プライベートゾーンの理解などについて、発達段階に応じた指導を実施している。また、SNS等の利用に伴うリスクについても具体的に指導し、教職員に対しては、研修等を通じて、性被害の背景等に関する理解を深め、校内での情報共有、連携により、早期の気付きにつなげている。

📌学校の諸課題



川越未来の会

加藤みなこ

無効票の種類別内訳

14



問無効票の情報公開を行うことのメリットについての認識を伺う。

答選挙管理委員会事務局長 無効票の現状を明らかにするという点でのメリットはあるが、情報公開することにより、不適切な投票を助長する可能性があることが課題である。



📌選挙環境づくり



公明党

田畑たき子

高次脳機能障害者への支援

16



問高次脳機能障害に特化した専門的な相談員がないとの相談を受けるが、市民サービスステーションに専門的な相談員を配置することについて市の考えを伺う。

答福祉部長 高次脳機能障害への支援は、医療や福祉、就労、権利擁護など幅広い専門性が必要となるため、障害者総合相談支援センターに配置している職員等を県が実施する研修会等へ参加させることにより、高次脳機能障害に関する必要な支援や情報提供が行えるよう努める。



📌高次脳機能障害者の支援



公明党

小ノ澤哲也

かわまるの台数を増やせ!

13



問要望してきた「かわまる」の乗降場が増えることになり良かったが、予約を取れない人が増え2台分の需要がある。「かわまる」を2台体制にすべきではないのか?

答都市計画部長 交通政策審議会で、かわまるの持続可能な運行に向けて審議しており、車両台数を増やすことも含めて幅広く検討を行うこととしている。車両台数を増やす場合、予約成立率の改善が期待できるが、導入区域や曜日、時間帯等について利便性向上や費用対効果等を踏まえた検討が必要であり、民間の交通事業者への影響等も踏まえて対応すべきものと認識しているため、庁内検討委員会での議論を深めていきたい。

📌デマンド交通かわまる



初雁自由政令会

小林範子

自治会役員の負担軽減策

15



問自治会長などの役員の負担軽減のために、どのような取り組みを行っているのか伺う。

答市民部長 自治会から大変であるとの意見が多い市からの郵便物については、発送日を毎週水曜日に限定している他、複数の課が発送する文書の集約も試みている。同じく意見の多い回覧の依頼は、令和2年度以降、原則として中止している。

また、令和8年2月には自治会長の負担軽減を目的とした会議を開催し、各課が把握する自治会からの意見等について情報の共有を行った。今後も関係各課による自治会の負担軽減のための協議を継続的に行っていく。

📌自治会の負担軽減

📌人と環境に配慮したまち



無党派

伊藤正子

こどもも大切に子育て支援

17



問こどもの負担が少ない形で子育てに優しいまちづくりを進めていくことが重要である。市の考えを伺う。

答こども未来部長 こどもの最善の利益を追求しながら、子育てに優しいまちづくりを進めていくことは、川越市こども計画の基本理念と通じるものと考えている。これを実現するためには、本市単独でできるものではなく、市民、事業者等との協働やさまざまな主体との連携、協力が必要であるため、本市としては関係機関等と連携し、事業に取り組むとともに、さまざまな主体の協力を得ながら、こどもまんなか社会の実現に向け、計画を着実に推進していきたいと考えている。

📌住みやすいまちづくり

📌子どもの最善の利益